

H23

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B	
番号・取組事業名	13001	男女共同参画の啓発推進		作成日	H23.4.1		
担当部署	160200	地域づくり推進部 男女共同参画室		責任者	谷口 恵子		
取組年度	H23	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	男女共同参画推進のための啓発事業を市民と協働で実施する。平成17年から21年度までの啓発事業への若い世代の参加割合の平均は17.2%と低調であるが、高齢社会に対応した男女共同参画の推進には若い世代の参画が不可欠である。また、平成22年度の事業仕分けにおいて、若い世代や男性に向けた啓発に取り組むべきと指摘を受けた。今後、性別にとられない家事・子育て・介護などの家庭生活や社会活動への理解を深めるために、男性とこれからの社会を担う若い世代に広く啓発することで、ワーク・ライフ・バランスの推進を目指す。						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	実施	・若い世代や男性を視点とした啓発事業の企画					
平成24年度	実施	・若い世代や男性を視点とした啓発事業への協働の働きかけ					
平成25年度	実施	・若い世代や男性を視点とした啓発事業の実施					
平成26年度	実施	・男女共同参画を視点とした市民意識調査の実施					
平成27年度	完了	・市民意識調査結果を踏まえた啓発事業の検討					
成果指標	指標名	啓発事業への若い世代の参加割合				単位	%
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	30	35	40	45	50	50
	実績値	23					
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額					0
		実績額					0
	見込まれる その他効果 (金額以外)	今まで参加が少ない男性や若い世代に、直接、ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画について、理解促進を図ることができる。					

H23

## アクションプラン(平成23年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B			
番号・取組事業名	13001	男女共同参画の啓発推進	作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31			
担当部署	160200	地域づくり推進部 男女共同参画室	責任者	谷口 恵子	担当者	男女共同参画担当			
	区分	取組内容・目標							
平成23年度	実施	・若い世代や男性を視点とした啓発事業の企画							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	シンポジウム実行委員会立ち上げ			○					
2	若い世代や男性の参加者も増加するような企画の検討				○				
3	シンポジウムの広報・周知					○			
4	シンポジウムの開催, 来年度以降に向けた改善の検討						○		
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	1. 6月に実行委員会を結成した。 2. 講演会・分科会に若い世代や男性が参加しやすいテーマを選定し, 若い人の応募を促すため, 携帯電話から申し込みできるよう, システムを検討。 3. 市の広報・ホームページ, 男女共同参画室のホームページ, 情報紙で広報・周知を12月15日から行う予定。 4. 24年度の開催方法などについても, 7月から検討を開始。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	啓発事業への若い世代の参加割合		計画値	単位	%	実績値	単位	%
					30		23		
	達成状況【成果】	一部達成	コメント	実行委員会のメンバーとして二人の40代男性の参加があり, 講演会も30代の子育て中の人に講演をしてもらうなど, 若い世代による若い世代への啓発事業を目指した。実態の構成比としてはアンケート回答者で20～40代が23パーセントだった。分科会は, 親子参加を呼びかけたものを複数用意し, 父親と子どもの体験型講座も好評だった。					
	進捗状況【活動】	進んでいる							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント	20～40代の若い子育て世代を中心とした啓発活動を, 工夫しながら継続していくもの。					
	計画値	無							
評価	評価者	窪井 公輔	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	若い世代を対象とした啓発に重点を置いて実施していく。					
	方向性	継続実施							

H23

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B		
番号・取組事業名	13002	審議会等への女性の登用促進	作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31		
担当部署	160200	地域づくり推進部 男女共同参画室	責任者	谷口 恵子	担当者	男女共同参画担当		
取組年度	H23	～	H27					
効果	その他改善							
最終目標	審議会等の委員は男性が多い状況であるが、男女共同参画の視点から、政策・方針決定過程に男性と女性の双方が参画できるように審議会等で女性委員の割合が35%となることを目指す。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度	実施	関係課との連携による審議会等への女性の登用促進に対する各担当部署への働きかけ						
平成24年度	実施	関係課との連携による審議会等への女性の登用促進に対する各担当部署への働きかけ						
平成25年度	実施	関係課との連携による審議会等への女性の登用促進に対する各担当部署への働きかけ						
平成26年度	実施	関係課との連携による審議会等への女性の登用促進に対する各担当部署への働きかけ						
平成27年度	完了	関係課との連携による審議会等への女性の登用促進に対する各担当部署への働きかけ						
成果指標	指標名	審議会等における女性委員の割合				単位	%	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	31	32	33	34	35	35	
	実績値	31						
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出削減	計画額					0	
		実績額					0	
	計	計画額					0	
		実績額					0	
見込まれる その他効果 (金額以外)	政策・方針決定過程に男性と女性の双方がバランスよく参画することで、柏市の男女共同参画を推進する効果がある。		政策・方針決定過程に男性と女性の双方がバランスよく参画することで、柏市の男女共同参画を推進する効果がある。		政策・方針決定過程に男性と女性の双方がバランスよく参画することで、柏市の男女共同参画を推進する効果がある。		政策・方針決定過程に男性と女性の双方がバランスよく参画することで、柏市の男女共同参画を推進する効果がある。	

H23

## アクションプラン(平成23年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B	
番号・取組事業名	13002	審議会等への女性の登用促進	作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31	
担当部署	160200	地域づくり推進部 男女共同参画室	責任者	谷口 恵子	担当者	男女共同参画担当	
	区分	取組内容・目標					
平成23年度	実施	関係課との連携による審議会等への女性の登用促進に対する各担当部署への働きかけ					
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	審議会等の登用状況の把握			○			
2	選任時期に向けた登用への理解促進					○	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	1. 23年4月1日現在で、審議会等における女性の割合は、30.2パーセントとなっている。 2. 審議会等における女性の登用促進について、24年度に改選がある担当部署に赴き、女性の積極的な登用の依頼を行った(10月)。			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	審議会等における女性委員の割合	計画値	単位 31	%	実績値	単位 31
	達成状況【成果】	達成	コメント	平成23年10月1日現在、審議会等における女性の割合は、31.3パーセントとなり目標に達した。24年度の改選に向け、引き続き女性の登用についての働きかけを行った。			
	進捗状況【活動】	進んでいる					
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント			
計画値		無					
評価	評価者	窪井 公輔	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	保育の提供をすることにより委員の参加意欲が増してきているので、更なるアイデアを出しながら継続していく。			
	方向性	継続実施					



H23

## アクションプラン(平成23年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	A		
番号・取組事業名	13003	市民大学事業	作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31		
担当部署	160300	地域づくり推進部 協働推進課	責任者	窪井 公輔	担当者	沖本 由季		
	区分	取組内容・目標						
平成23年度	実施	・市民大学事業は設立準備会を立ち上げ、10月開講を目指す。						
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1	設立準備会及び設立検討協議会設置			○				
2	柏市民大学を考えるワークショップ、フォーラム、プレ講座等開催			○	○			
3	開講準備(カリキュラム概要確定、パンフレット作成、受講生募集開始)				○			
4	開講					○	○	
5								
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	東日本大震災の影響により、ワークショップ・フォーラムの開催については中止された。しかし、設立準備会によってカリキュラムの内容が検討され、予定通り開校し、現在開講中である。				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	地域活動等に参加する新たな人材の発掘	計画値	単位	人	実績値	単位	人
				30			17	
	達成状況【成果】	一部達成	コメント	今年度開講したクラスについては、地域で活動する意欲のある人材が、17名参加している。クラスの募集人数が20名だったことを考えると、達成度は85%となる。				
	進捗状況【活動】	計画どおり						
計画変更(次年度以後)	取組内容	有	コメント	次年度は3クラス開講予定。すでに企画を検討中。当初案では本事業を実行委員会形式でスタートし将来はNPO的な運営を視野に入れていたが、本市の行政課題に関わる内容となるため、今後も市の主催事業とする。				
	計画値	無						
評価	評価者	石黒 博	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	23年度の結果を踏まえ改善すること。特に参加者との受講後の連携について工夫すること。				
	方向性	取組み強化						





H23

## アクションプラン(平成23年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	A			
番号・取組事業名	13004	地域づくり推進事業	作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31			
担当部署	160400	地域づくり推進部 地域支援課	責任者	窪井 公輔	担当者	高村 光			
	区分	取組内容・目標							
平成23年度	実施	・地域づくり推進事業は地域特性・地域資源を検討し、モデル事業立ち上げを目指す。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	地域活性化モデル事業, エリア別研修の実施等内容の協議・検討(年次計画策定)			○	○				
2	地域活性化モデル事業, エリア別研修の実施				○	○	○		
3	H24年度事業計画作成及び予算編成					○	○		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	高柳地域において、地域住民、柏市、柏市社会福祉協議会、東京大学等と連携したモデル事業(多世代交流事業)を、現在進めている。また各コミュニティエリアにおいて、ふるさと協議会と地域づくり推進事業を推進するための企画会議を実施、地域ニーズ、資源等の調査および今後の事業展開について検討を進めている。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	地域活動等に参加する新たな人材の発掘		計画値	単位	人	実績値	単位	人
					20		68		
	達成状況【成果】	達成		コメント	平成23年度より、ふるさと協議会連合会に地域づくり推進委員会を設置し、地域づくりについての研修や情報交換を行うとともに、地域づくりコーディネーターの支援を活用しながら、それぞれの地域課題解決や地域の活性化等の取組みを行っている。				
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無		コメント					
	計画値	無							
評価	評価者	石黒 博		※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B		コメント 指示事項	地域の関係者とのコミュニケーションを丁寧にとりながら進めること。				
	方向性	継続実施							



H23

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B		
番号・取組事業名	13005	ストップ温暖化サポーター事業等の推進	作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31		
担当部署	080500	環境部 環境保全課	責任者	金子 雅一	担当者	環境政策担当		
取組年度	H23	～	H27					
効果	歳出削減	その他改善						
最終目標	<p>温暖化防止対策を推進するため、市民が活動している「かしわ環境ステーション運営協議会」や「ストップ温暖化サポーター」が主体で行っている温暖化対策事業の拠点となる『地球温暖化防止活動センター』を設置するとともに、柏市の温暖化対策を集約したWEBサイトを構築し、市民の参画・参加を得ながら普及啓発を図る。</p> <p>センター立上時には、柏市環境保全協議会などの事業者会員加入により、市の委託料が削減できる</p> <p>80会員×2千円＝160千円</p>							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度	実施	「かしわ環境ステーション」や「SOS事業」で実施されている温暖化防止対策事業に加え、センター設置時に必要となる温暖化防止の専用WEBサイトを立ち上げるとともに、団体のNPO化を進める。						
平成24年度	実施	温暖化防止活動団体の活動事業充実						
平成25年度	実施	センターの開設と温暖化防止活動の推進						
平成26年度	実施	温暖化防止活動の推進						
平成27年度	完了	温暖化防止活動の推進						
成果指標	指標名	温暖化防止の普及啓発事業の回数				単位	事業数	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	10	10	20	25	30	30	
	実績値	12						
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出削減	計画額	0	0	160	160	160	480
		実績額	0					0
	計	計画額	0	0	160	160	160	480
		実績額	0					0
見込まれる その他効果 (金額以外)	<p>柏市の温暖化活動及び各団体の活動状況の提供並びに市民が温暖化防止活動から情報提供を得る</p> <p>温暖化防止活動団体の充実を図る。</p> <p>カーボンオフセット制度の導入など新たな取組により、家庭等から排出される温室効果ガスの削減が見込まれる</p> <p>カーボンオフセット制度の導入など新たな取組により、家庭等から排出される温室効果ガスの削減が見込まれる</p> <p>カーボンオフセット制度の導入など新たな取組により、家庭等から排出される温室効果ガスの削減が見込まれる</p>							

H23

## アクションプラン(平成23年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B			
番号・取組事業名	13005	ストップ温暖化サポーター事業等の推進	作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31			
担当部署	080500	環境部 環境保全課	責任者	金子 雅一	担当者	環境政策担当			
	区分	取組内容・目標							
平成23年度	実施	「かしわ環境ステーション」や「SOS事業」で実施されている温暖化防止対策事業に加え、センター設置時に必要となる温暖化防止の専用WEBサイトを立ち上げるとともに、団体のNPO化を進める。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	WEBサイトの立ち上げ			○					
2	環境家計簿の登録				○	○	○		
3	我が家のエコ自慢投稿(緑のカーテン)				○	○			
4	エコチャレンジコンテスト				○	○	○		
5	柏市の取組(環境フェスタ等の開催)				○	○			
6	エコ情報(補助金の紹介など)				○	○	○		
7									
8									
9									
10									
進捗									
	上半期	進捗状況	遅れている	コメント	WEBサイトについては、単なる市からの一方的な情報発信のみでなく、環境家計簿や緑のカーテン投稿など、双方向的なサイトを目指したため、計画より遅れ、11月1日開設とした。				
進捗・実績									
		成果指標名	温暖化防止の普及啓発事業の回数	計画値	単位	事業数	実績値	単位	事業数
					10			12	
	年度末	達成状況【成果】	達成	コメント	温暖化防止の普及啓発事業については温暖化防止活動団体である「ストップ温暖化サポーター」や「かしわ環境ステーション運営協議会」が中心となり行った。特に、市内大型商業施設で行った「かしわ環境フェスタ」は多くの方に来場していただき、幅広い層に温暖化防止について考えていただく機会となった。				
		進捗状況【活動】	計画どおり		WEBサイトについては、一方的な情報発信のみではなく、双方向的なサイトとなり、楽しみながら閲覧していただけるものが完成した。				
		計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント				
		計画値	無						
評価	評価者	伊原 優	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	ストップ温暖化サポーター事業は、市民啓発の一翼を担っている。今後も継続して実施していきたい。また、市民啓発の方法は更に検討する必要がある。					
	方向性	継続実施							



H23

## アクションプラン(平成23年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B					
番号・取組事業名	13006	柏市生きもの多様性プランの推進	作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31					
担当部署	080500	環境部 環境保全課	責任者	金子 雅一	担当者	環境政策担当					
	区分	取組内容・目標									
平成23年度	実施	生きもの多様性プランに沿った施策の実施									
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月				
1	プランの公表と周知			○		○					
2	「人里の生きもの」リストの作成				○	○					
3	「生きもの多様性重点地区(仮称)」の指定と保全計画の立案			○	○	○	○				
4	生きもの環境影響評価の制度設計			○	○	○	○				
5	生きもの多様性プラン推進委員会の設置・活動				○	○	○				
6											
7											
8											
9											
10											
進捗											
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	推進委員会を設置しプランを進めているところである。						
進捗・実績											
	年度末	成果指標名	人里の生きものの種類		計画値	単位	種類数	実績値	単位	種類数	
						動物153種	植物196種		動物153種	植物197種	
		達成状況【成果】	一部達成	コメント	取り組み項目1. 2. 3. 5 は達成しなかつ推進中である。4の生きもの環境影響評価の制度設計は協議を進めているところである。						
		進捗状況【活動】	進んでいる								
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント	成果指標は動植物の種類及び生きもの多様性重要地区の保全状況とする。						
		計画値	無								
評価	評価者	伊原 優	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする								
	総合評価(A・B・C)	A	コメント 指示事項	今年度設置した委員会を中心に今後の生きもの多様性プランを推進して行きたい。							
	方向性	継続実施									

H23

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B	
番号・取組事業名	13007	消防団運営事業		作成日	H23.4.1		
担当部署	400100	消防局総務課		責任者	大井成介		
取組年度	H23	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	「自らの地域は自ら守る」という郷土愛護の精神に基づき、市民の安心・安全を守るための組織の確立。						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	実施	条例定数の確保、各種消防団活動の広報(PR)の充実、救命サポート隊による救命率の向上					
平成24年度	実施	条例定数の確保、各種消防団活動の広報(PR)の充実、救命サポート隊による救命率の向上					
平成25年度	実施	条例定数の確保、各種消防団活動の広報(PR)の充実、救命サポート隊による救命率の向上					
平成26年度	実施	条例定数の確保、各種消防団活動の広報(PR)の充実、救命サポート隊による救命率の向上					
平成27年度	完了	条例定数の確保、各種消防団活動の広報(PR)の充実、救命サポート隊による救命率の向上					
成果指標	指標名	消防団員の定数確保				単位	人
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	617	617	617	617	617	617
	実績値	617					0
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額					0
		実績額					0
見込まれる その他効果 (金額以外)	消防団員数の確保による、災害に強いまちづくり・ひとづくりの向上						

H23

## アクションプラン(平成23年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B			
番号・取組事業名	13007	消防団運営事業	作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31			
担当部署	400100	消防局総務課	責任者	大井成介	担当者	消防団担当			
	区分	取組内容・目標							
平成23年度	実施	条例定数の確保, 各種消防団活動の広報(PR)の充実, 救命サポート隊による救命率の向上							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	消防団と事業所の協力体制の推進(消防団協力事業所表示証交付)			○					
2	消防団活動の広報(PR)の充実(消防団協力事業所表示証交付式情報提供)			○					
3	消防団活動の広報(PR)の充実(東日本大震災被災地支援活動情報提供)			○					
4	消防団活動の広報(PR)の充実(柏市消防団消防操法大会情報提供)			○					
5	救命サポート隊による救命率の向上			○	○	○	○		
6	条例定数の確保						○		
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	消防団協力事業所表示制度について2団体から申請があり交付した。消防団活動の広報についてはホームページを積極的に活用している。救命サポート隊による救命講習を年間を通して実施している。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	消防団員の定数確保		計画値	単位	人	実績値	単位	人
					617		617		
	達成状況【成果】	達成	コメント	現代人の地域への関心の希薄さ, 又はサラリーマン化上昇による地元定職率が下がり, 団員の担い手を探すのは, 柏市に限らず容易ではない。 柏市消防団にあっては, 県内で条例定数を満たしている4市の内の一つであり, 団員一人一人の募集活動によって達成されたものである。					
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント						
	計画値	無							
評価	評価者	羽石 清二	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	・消防団活動及び必要性がもっと市民に理解されるよう事業の継続を願いたい。					
	方向性	継続実施							